



令和5年8月8日14時00分
近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

令和5年9月13日（水）22時より
姫路SAは、一般道から利用できなくなります。
～姫路SAの長時間駐車対策の実施～

○平成20年頃から長時間駐車等による姫路SAの混雑課題に対して、看板設置や啓発活動等を進めてきましたが、改善が見られませんでした。

↳ 令和4年12月5日（月）に実施したSA内の駐車車両調査結果

- 一般道からの入場車両は午前中に多く、長時間駐車（4時間以上）61台のうち一般道からの利用は20台（約3割）。
- 相乗り行為による長時間駐車は40台で、その9割以上（38台）が仕事のための長時間駐車。平均駐車時間も10時間19分。

○また、今後、県道広畑青山線の接続（令和7年度暫定2車線供用予定）もあり、姫路SAの利用の更なる増加が予想されます。そこで、**令和5年9月13日（水）22時より** 工事を行い、一般道から姫路SAを利用できない形態に変更します。

○一般道から進入できないようにすることで、姫路SAの国道2号姫路BPの休憩施設としての機能が向上し、相乗り行為を減らす効果も期待できます。対策後の姫路SAの利用状況については、今後調査を行い年内を目処に公表する予定です。

○今回の工事による姫路西ICの利用方法は変わりません。

※相乗り行為とは、仕事やレジャー目的のグループがそれぞれの車でSA駐車場に集合して、その内の誰かの車に乗り合わせて目的地に向かう行為です。

・一般道から姫路SAを利用できない形態に変更することについて


※別添1参照

・令和4年12月5日（月）に実施した駐車車両調査結果

※別添2参照

取 扱 い	_____
-------	-------

配 布 場 所	中播磨県民センター庁舎内記者室、兵庫県政記者クラブ
---------	---------------------------

問 い 合 わ せ	国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所 TEL:079-282-8211		
		副所長（道路）	おおえだ ちあき 大枝 千晋 （内線206）
		道路管理第一課長	さかぐち まさひろ 坂口 正洋 （内線431）
		道路管理第二課長	たじり ひさと 田尻 尚登 （内線441）

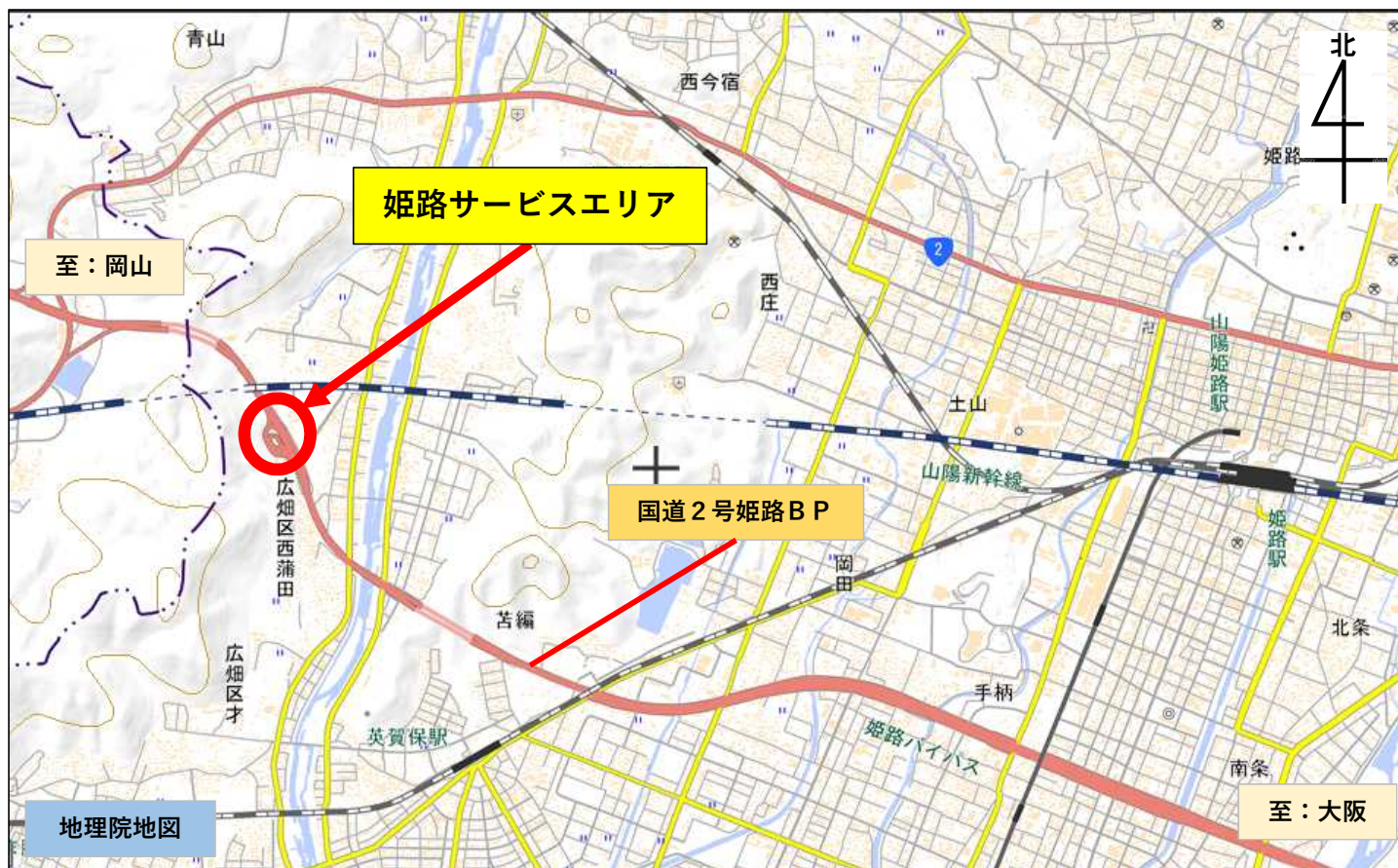
①ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php>

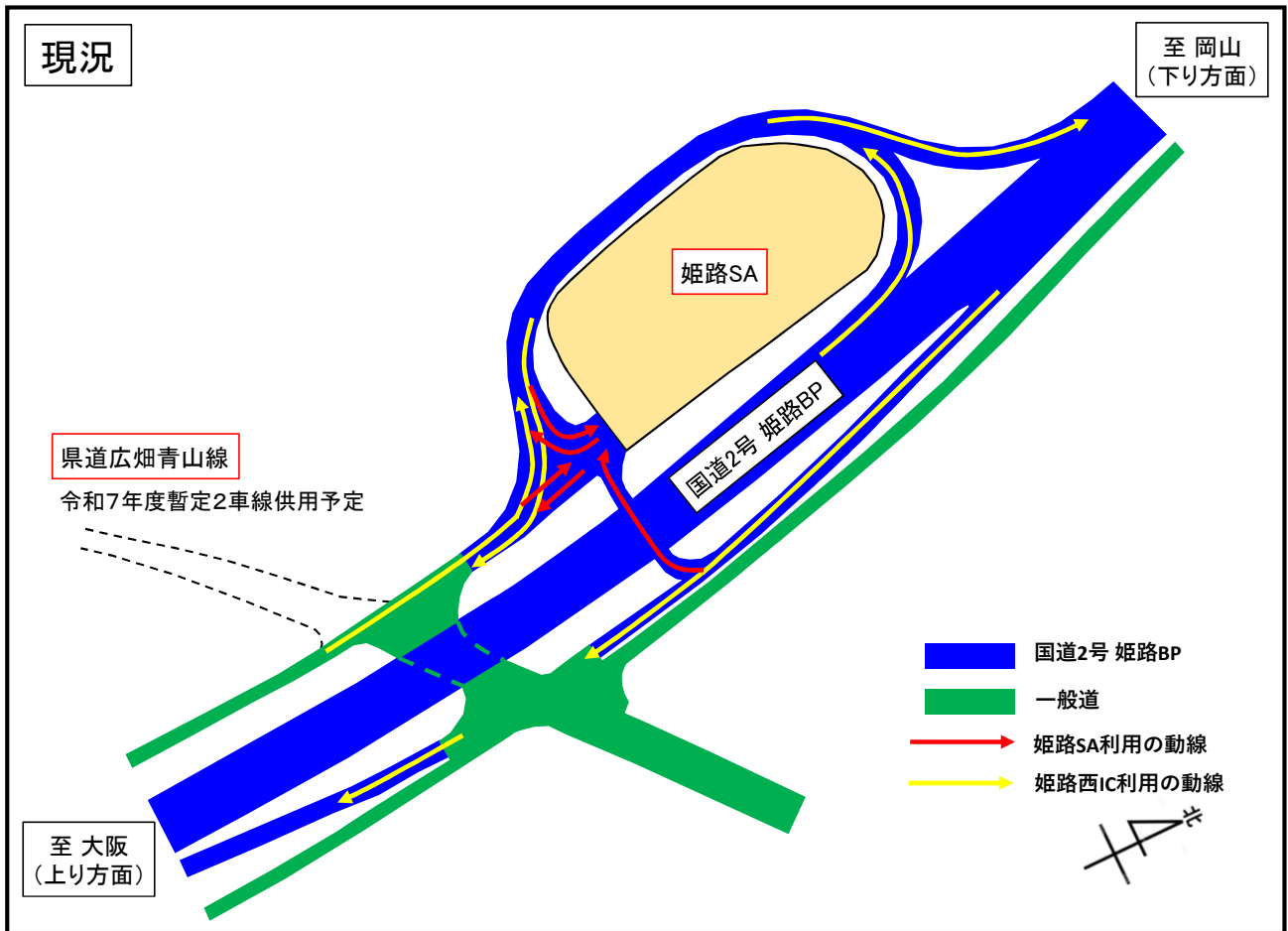
② X (Twitter) https://twitter.com/mlit_himeji



※「話そうはりま」は、皆さまと一緒に明日の播磨のまちづくりを考えていこうという私たちの姿勢です。

【姫路サービスエリア 位置図】

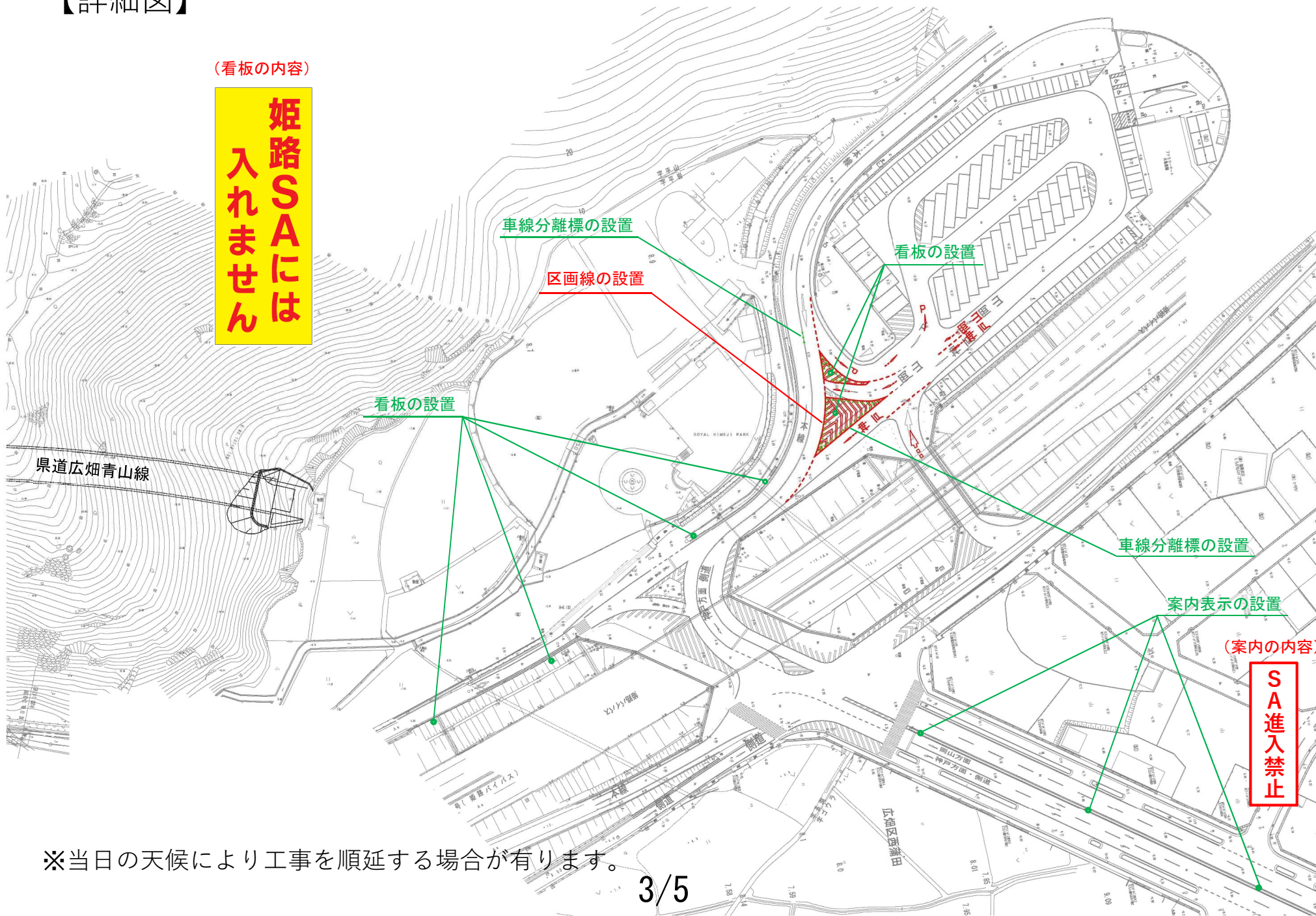




【詳細図】

(看板の内容)

姫路SAには
入れません

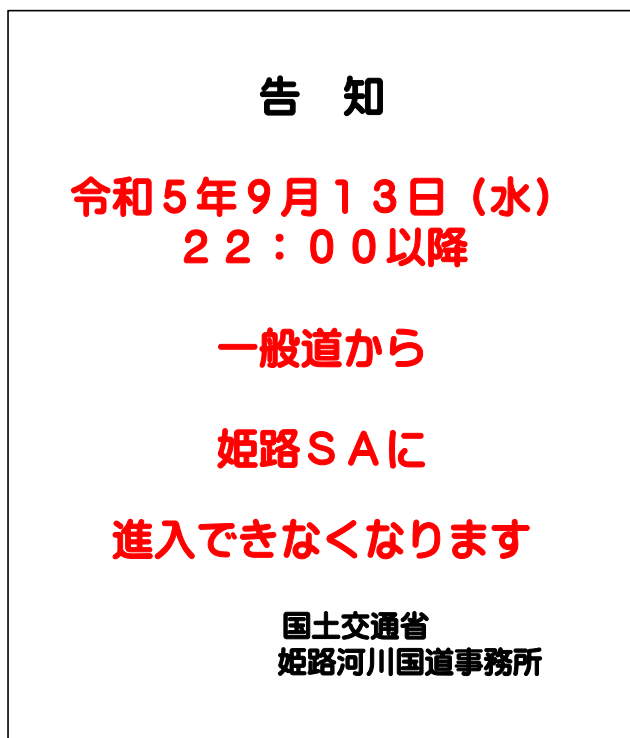


※当日の天候により工事を順延する場合があります。

【事前予告看板】

※令和5年8月8日設置予定

イメージ



設置箇所(3箇所)



○ 事前予告看板設置箇所

<参考>

これまでの啓発活動の取り組み

平成17年頃

姫路SAの場内に注意喚起看板設置（2種類4基ずつ計8基）



平成20年頃

迷惑駐車防止キャンペーン（啓発活動）を開始（1回/年）



平成24年より

姫路SAの占用企業者とも連携して対策を実施

<事例>

- ・新たに注意喚起看板設置（2基）
 - ・店内やインフォメーションでの注意喚起掲示
 - ・防犯カメラ（4台）によるモニタリング 等
- ※イートインスペースにて24時間映すことで注意を促す

⇒迷惑駐車防止キャンペーンを協働で開始



継続して啓発活動を実施

令和4年度実施

8月：迷惑駐車防止キャンペーンを実施

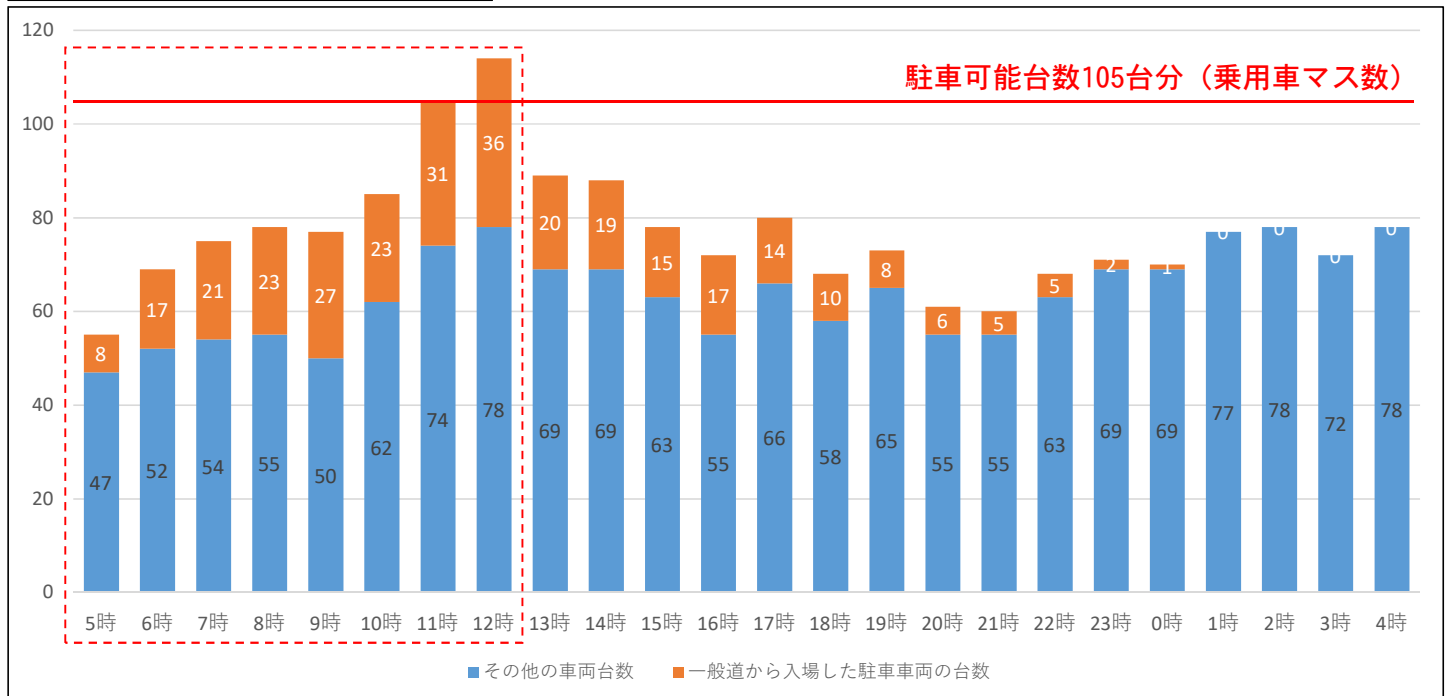


国道2号姫路BP 姫路SA利用台数等調査 〔調査結果〕

別添2

- 令和4年12月5日（月） 5時から翌朝5時までの24時間調査
- お昼の時間帯（11時～12時）に満車状態になっている。
- 12時までの時間帯では一般道から入場している車両が全体の約3割（186台/658台）。
- 長時間駐車（4時間以上）61台のうち一般道からの利用は20台（約3割）。
- 相乗りが確認できた車両（40台）のうち、業務・仕事目的が9割以上（38台）。

時間帯別駐車台数



【長時間駐車＜4時間以上＞の台数（入路別）】

国道2号（下り線・岡山方面） 23台
 国道2号（上り線・大阪方面） 18台
 一般道 20台※（約3割）

合計 61台 ※20台のうち相乗り関連は14台（7割）
 （うち、相乗りグループの乗捨車両の台数 40台）

【相乗り乗車の目的】

業務・仕事	38台
レジャー	0台
その他	2台
合計	40台